

大竹市の文化財 第一集

石 仏 を 訪 ね て

発 行 大竹市教育委員会
編 集 大竹市歴史研究会

発刊にあたって

大竹市教育委員会

教育長 塩田 昭男

私たちのふるさと「おおたけ」は、その昔遠管の郷とよばれ、古代山陽道の要路にあたり、遠管の駅がおかれ
ていました。そして、近世に入り、福島氏の亀居城築城、幕末の動乱期には長州戦争の戦禍を及び沿岸部のほと
んどの民家が焼失しました。このように幾多の歴史の変遷をくりかえしながら今日まで多くの人々が生活を営み、
先人の遺産を受け継ぎながら、新しい文化を創造し、次の時代に継承しております。したがって、私たちのくら
しの中には、郷土の先人の遺産が深く根ざしており、その正しい継承なくしては、新しい文化の創造は望めませ
ん。すなわち、先人の遺産である文化財は、私たちの郷土の歴史・文化をさぐり、将来の新しい文化を創造する
基礎となるものです。

そこで大竹市教育委員会では、各種の文化財を学術的に調査し、その成果を広く市民の方々に公開し、新しい
文化の創造に役立てていきたいと考えております。

このたびは、大竹市歴史研究会のご協力を得て実施しました石仏調査の結果を編集し「石仏を訪ねて」と題し、
「大竹市文化財第一集」を発刊する運びとなりました。

調査の結果、市内には多くの石仏が散在し、人々の素朴な祈りの中で大切に守られていることが確認されまし
た。

今後、市民のみなさんがこれらの調査の成果を、これからの文化財の学習や心豊かでぬくもりのある「ふるさ
とづくり」に役立てていただければ幸いです。

おわりに、この調査・編集にあたり並々ならぬ意欲をもってご協力ご指導いただきました畠中会長をはじめと
する大竹市歴史研究会のみなさんに厚く御礼申し上げ、発刊にあたっての挨拶いたします。

平成四年三月

大竹市の全体図



目次

発行にあたって

大竹市教育委員会 教育長 塩田昭男

大竹市全体図

大竹地区 地図

宝篋印塔〔宝篋印塔〕

火伏地蔵と法華塔

日切地蔵〔地蔵さんとよだれかけ〕

経塚山四国八十八ヶ所順拝霊場〔順拝と巡拝〕

五輪塔「歴代大和尚供養塔」

大地荒神 白石神社

迫山開運地蔵

〔弘法大師空海〕

延命地蔵

こけ地蔵 中山大師

大河原池の首なし地蔵

みちびき地蔵 南栄の日切地蔵

川手・木野地区 地図

比作のお大師さま 穂仁原のお大師さま

防鹿・大師堂の地蔵菩薩

枕崎台風被災者供養地蔵 早瀬ヶ迫の夜泣き地蔵

小方・黒川地区 地図

立戸共同墓地の地蔵

立戸の五輪塔（墓）

飛石の疣神	21
阿多田島の六地藏〔六地藏〕 御園の橋姫神社	22
三ツ石大権現	23
小方・卸場川の無縁五輪塔群	24
遠土墓地の「お地藏さん」	25
小方の四国八十八ヶ所霊場	26
小方の行者山登山口・地藏さん 小方行者山の不動堂	27
三界萬霊	28
無縁三ツ塚	29
黒川寺屋敷墓苑 地藏尊	30
玖波地区 地図	31
称名寺の窟観音	32
同寺 疣地藏	33
同寺 六角柱上如来坐像 同寺 足摺り地藏	34
同寺 観音堂〔如意輪観音菩薩・馬頭観音菩薩〕	35
神生石	36
野口の六地藏 桜地藏	37
玖波の延命地藏	38
西山社の延命地藏 木場の「ごりんさん」	39
玖波谷の馬頭観音	40
玖波の馬頭観音 松ヶ原の馬頭観音	41
栗谷町広原・谷尻・後原・谷和地区 地図	42
広原の阿弥陀堂	43
谷尻の境守り地藏	44
後原の割山地蔵	45

後原の三王大権現〔権現〕	45
谷和の子好き地藏	46
栗谷町小栗林・大栗林地区 地図	47
大下（おおしも）の地藏	48
耕中石（大石）	49
小栗林の薬師堂〔薬師如来〕	50
安楽寺四国八十八ヶ所縮尺霊場	51
安楽寺・門前の「お地藏さん」瑞照寺の延命地藏	52
小栗林共同墓地の六地藏 大栗林の共同墓地の六地藏	53
大栗林の新西国三十三番霊場	54
栗谷・行者山の石仏	55
瑞照寺の薬師如来	56
床松地藏	57
下場の歯痛地藏	58
沖窪の地藏	59
能行の首なし地藏〔法界〕	60
参考文献	61
編集後記	62